



自衛隊栃木地方協力本部

SH-60K海上自衛隊厚木航空基地で体験搭乗！ ～プチ海外旅行？！厚木航空基地を満喫～



ブリーフィングの様子



ドックタグ、ヘルメットを受け取る参加者



フライトの間には、航空機見学を実施

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩 1陸佐）は8月26日（土）、海上自衛隊厚木航空基地で募集対象者等11名に対しSH-60K体験搭乗を行った。

当日は午後から天候が崩れる予報が出ていたため、部隊の計らいで、昼食後の体験搭乗を繰り上げ、到着次第、体験搭乗を実施することになった。

米海軍と共同施設の海上自衛隊厚木航空基地へ到着すると、正門の受付は米海軍の隊員等が行っており、参加者たちは早くも異国情緒あふれる体験に期待と胸が大きく膨らんでいた。米軍基地内を通り抜け、部隊へ到着するとSH-60Kの任務についてのブリーフィングののち、各人にドックタグ、ヘルメット等が配られ体験搭乗が始まった。2フライト目の搭乗が終わると、上空に灰色の雲が近づき、時折雷鳴が遠くに聞こえ、最後の3フライト目の実施が危ぶまれたが、基地上空を避けるように雲が動いてくれたため何とか実施することが出来た。体験搭乗後、遅めの昼食を米軍基地内のフードコートで取ると、英語のメニューやドルで返ってくるお釣りなどに「プチ海外旅行」の気分を味わうことができた。参加した大学生から「とても楽しかったです。一生の思い出になりました！プチ海外旅行？をしたことも早く友達や家族に自慢したいです」と笑顔で話してくれるなど、海上自衛隊厚木航空基地の魅力が満喫した一日となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じて募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に推進していく」としている。



フライト直後の参加者の様子



次のフライトを見送る参加者達



SH-60Kの前で集合写真



組みひも体験

ヤクルト健康まつりで広報展 ～真夏の足利で地域に根ざした広報を！～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村 1空尉）は8月27日（日）、足利市両毛ヤクルト販売株式会社で行われた「第10回ヤクルト健康まつり」において、広報展を実施した。

広報展には大勢の家族連れが訪れ、制服試着や組みひも体験を楽しんでいた。特に制服試着では、猛暑にもかかわらず多くの来場者が、「すごい！これを着てみたい」「似合ってるよ」と写真撮影をしながら楽しんでいる様子が印象的であった。

また、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、96式装輪装甲車、軽装甲機動車の車両展示も実施し、行列ができるほどの盛況ぶりでも多くの来場者へ自衛隊の魅力が伝えられることができた。

足利地域事務所は「今後も、多くのイベントで自衛隊をPRし、自衛隊の魅力を伝えるとともに地域住民との信頼関係をより深めていく」としている。



制服試着



車両展示